

先進地（現地）調査報告書

平成 30 年 3 月 29 日

玉名市議会
議長 中尾 嘉男 様

氏名 吉田 真樹子



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	多田隈 啓二、北本 将幸、吉田 憲司、吉田 真樹子
日時	平成 30 年 2 月 7 日（水）～ 平成 年 月 日（ ） 午後 1 時 30 分 ～ 午後 4 時 30 分
調査先	大阪府大東市
調査事項	地域包括ケアに向けた地域づくり とことん住民主体の取り組みについて
調査先面会者	大東市地方創生局兼保険医療部高齢介護室課長参事 理学療法士 ■■■■■ 氏
概要及び所見	「住民主体の介護予防で地域を活性化」 大東元気でまっせ体操をテレビを見て 大東市の成功事例を調査・研修に行かせて頂きました。 （概要） 大阪府大東市人口 12 万人（玉名市 67,000 人） 面積 18.27 km ² （玉名市 152 km ² ） 1/3 山間部 初めての視察へ行かせて頂きました。大東市役所高齢介護室課長 参事 ■■■■■ さんの説明がとてもわかりやすく感心、感動する内容と 流れでした。質疑が多すぎ終了時間を 1 時間もオーバーしました。 それもそのはず、年間 100 回講演される優秀職員さんでした。 大東市が立ち上げた「大東公民連携まちづくり事業 株式会社」の アドバイザーでもあられます。支えを必要とする高齢者の増加を くい止める介護予防の推進を 13 年前にスタート。 健康のための体操を行政ではなく住民主体で自らやればこうな る、やらなきゃこうなるをしっかりと伝えることをポイントに進め られる。

大阪府民の府民性「〇〇だと得する!!〇〇だと損する」を国民健康保険料にたとえ「元気だと病院へ行かない、病院へ行かないと国民健康保険料が下がる」ってことは「元気でいればいい」と伝えたとか。「あーきつかったあ」くらいの体操を市内108ヶ所約2,100名が実施されているそうです。

生活サポート事業では「家事援助」「生活支援」を元気な住民が行い（生活サポーター535人）30分以内250円の謝礼金もしくは時間貯金（1/3）を選ぶことが出来るそうです。この時間貯金とは自分が介護される側になったときに貯めていた分を無料で支援して頂けるシステムでした。お金ではなく時間を貯金とは素敵なアイデアだなあと思いました。

（所見）

初の視察を終えて直接話を聞く私達議員は各行政の取り組みに感心しこれを玉名市でもと熱く思いますが「これ」を持ち帰り伝えることが難しいと感じました。次回は玉名にお越し頂いて関係課の部長、課長と調査研修をさせてもらえたらと考えます。日本全国の中で選んで熊本玉名にお越し頂けることはめったにないでしょう。そこで私達議員が視察へ行くのではなく玉名に「山田の藤」「花菖蒲」などが美しい時期にお越し頂きおもてなしが出来たらと。玉名観光でよかところ玉名を見せることが出来たらとてもいいのでは。他県の方に玉名を知って頂ける機会にもなります。そんなおもてなし視察研修をやりたいと考えました。

まずは大阪府大東市より■■■■さんにお越し頂きたいと考えておりますので進めて参ります。

先進地（現地）調査報告書

平成 30 年 3 月 29 日

玉名市議会
議長 中尾 嘉男 様

氏名 吉田 真樹子



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	多田隈 啓二、北本 将幸、吉田 憲司、吉田 真樹子、
日時	平成 30 年 2 月 8 日（木）～平成 年 月 日（ ） 午後 1 時 00 分 ～ 午後 3 時 00 分
調査先	山口市 都市政策部交通政策課
調査事項	山口市の交通政策について
調査先面会者	山口市議会事務局長 [] 氏 事務局調査担当 [] 氏 山口市都市政策部 交通政策課副参事 [] 氏
概要及び所見	<p>山口市… 1 市 5 町が合併人口 19 万人（玉名 6 万 7,000 人） 面積 1,023 km²（玉名 152 km²）</p> <p>強いマイカー依存 1 位の山口市。 行政主体のバスが運行されていたものの路線のない移動手段がとれない地域からの不満状態から「交通まちづくり委員会」を設置され協働出来た過程を調査・研修させて頂きました。</p> <p>※ 市民の移動手段は「行政が確保する」といったこれまでの考えを見直し市民が「みんなで創り育てる」という姿勢で取り組まれたそうです。</p> <p>「市民の役割」「事業者の役割」「行政の役割」とみんなが主役となってそれぞれの役割を果たし協働して交通システムを整えてこられたそうです。</p> <p>（協働とは…複数の主体が何らかの目標を共有し、共に力を合わせて活動すること。）</p> <p>現在 7 地域でコミュニティタクシーが運行中。 スタート時の平成 19 年から利用者数は 10 年で 3 万人増。 信頼ある顔なじみの運転手さんと呼ばれて自分で好きな時に出掛け</p>

ることが出来ると喜ばれ利用されているようです。

玉名市にも「しおかぜタクシー」と「いちごタクシー」があります。車に乗られない移動手段のない市民の声を聞いてお出掛けのしやすいシステムを一緒に考えていきたいです。

(所見)

初の視察を終えて直接話を聞く私達議員は各行政の取り組みに感心しこれを玉名市でもと熱く思いますが「これ」を持ち帰り伝えることが難しいと感じました。次回は玉名にお越し頂いて関係課の部長、課長と調査研修をさせてもらえたらと考えます。日本全国の中で選んで熊本玉名にお越し頂けることはめったにないでしょう。そこで私達議員が視察へ行くのではなく玉名に「山田の藤」「花菖蒲」などが美しい時期にお越し頂きおもてなしが出来たらと。玉名観光でよかところ玉名を見せることが出来たらとてもいいのでは。他県の方に玉名を知って頂ける機会にもなります。そんなおもてなし視察研修をやりたいと考えました。